

『保育学研究』特集論文・自由論文 執筆要項

	項目	詳細
論文本文 (Wordにて作成し、アップロード)	用紙サイズ	A4
	フォント	MS明朝
	フォントサイズ	10.5 (図表類、事例等は6pt以上)
	アルファベット、数字	半角
	レイアウト	2段組み
		各段:21字×40行
	ページ数	10ページ以内 (小見出し、写真、図表、注、引用文献含む。参考文献は記載しない。)
	ページ番号	下部に記載
	文末表現	「である」調
	図表類、事例、写真の大きさ	タイトル等を含め、フォーマットのレイアウト内に収まるように作成
	図表類、事例、写真のカラー	白黒で作成
	注	文中 ^{注1)} ^{注2)} というように記号をつける
		引用文献の前に、注という項目を作成し、(注1)…、(注2)…と記載
	引用文献	文中 ¹⁾ ²⁾ というように記号をつける
		論文の末尾(注の次)に引用文献として(1)…、(2)…と記載し、 「引用文献表記」(本学会ホームページ参照)に従って明記 (ホーム>学会誌『保育学研究』>論文投稿について>引用文献表記 https://jsrecce.jp/?page_id=6392)
	匿名性	公平な論文審査を行うにあたり、ダブル・ブラインド方式をとっているため、投稿論文には執筆者の匿名性が担保できない情報は記載しない
電子投稿システム 直接入力 (論文本文には記載しない)	標題	和文および英文でつける
		副題がある場合は、副題の前後をダッシュ(―)ではさむ
	抄録	抄録(アブストラクト)は目的、方法、結果、考察を含めて本文の内容を理解できるように簡潔に記載
		和文抄録:300字以内
		英文抄録:180語以内(必ず英語の熟達者による校閲を受けること)
	キーワード	日本語英語共に5つ以内
	専門分野	筆頭執筆者の専門分野
	謝辞	電子投稿システムに入力

	項目	詳細
	付記	電子投稿システムに入力
		各機関の研究助成を受けた場合:「本研究は、〇〇の助成を受けて行った。」等記載
		既発表の研究を新たにまとめ直した場合に該当する場合:「本論文はその一部を〇〇大会にて発表している。」「本論文は〇〇大会において発表したものを加筆、修正したものである。」「本論文は〇〇大学に提出した修士論文を加筆、修正したものである。」等記載
		投稿論文の一部あるいはそれをもとに、日本保育学会大会、他の学会大会、学会誌、専門誌、研究誌等において発表を予定しており、『保育学研究』に掲載される前までに発表が終了している場合:「本論文はその一部を〇〇大会にて発表を予定している。」「本論文は一部、〇〇大学に博士論文として提出予定である。」等記載

提出書類（①②④⑤提出必須書類）		ファイル名（半角英数字）
①	論文原稿（図表あり）（Wordファイル） 図表、事例、写真、注、引用文献を含む。 10頁以内 ※謝辞・付記は含まない	honbun_01
②	論文原稿（図表なし）（Wordファイル） 注、引用文献を含む。 ※図表、事例、写真、謝辞・付記は含まない	honbun_02
③	図・表・写真等※1	zuhyo_01 zuhyo_02
④	投稿前確認事項	kakunin
⑤	執筆者全員分の年会費の領収書※2	nenkaihi_01 nenkaihi_02
⑥	関係書類（付記に記載のある論文等）※3	kankei_01 kankei_02
⑦	承諾書・同意書のフォーマット※4 または、倫理審査委員会の結果通知書類 理由書	syoudakusyo douisyo rinri riyu

提出書類についての注意事項	
※1	論文本文に図表や写真が挿入されている場合は、提出必須書類 ファイル形式は問わない 図表タイトルは、データ内に記載、もしくはアップロード時に電子投稿システムの「説明」欄に入力
※2	会員ページからダウンロードした領収書のPDFにはセキュリティーがかかっており、 投稿時にエラーが発生する場合があるため、スクリーンショット等をアップロードする
※3	大会名、学会誌名および開催時期や発刊時期等を追記 もしくは、ファイルアップロード時、電子投稿システムの「説明」欄にそれらを入力
※4	自身が実際に使用したフォーマットに、承諾を得た日時・人数を追記